

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	21900AMX00625000
薬価収載	2007.7
販売開始	2007.7 *1986.10

\*旧販売名による

## 漢方製剤

# クラシエ 防已黄耆湯 エキス細粒

ボウ イ オウ ギ トウ

KB-20 EK-20

## 〔組成・性状〕

### ※※1. 組成

本薬1日量（7.5g）中

日局ボウイ ……………5.0g

日局オウギ ……………5.0g

日局タイソウ ……………3.0g

日局カンゾウ ……………1.5g

日局ビャクジュツ ……………3.0g

日局ショウキョウ ……………1.0g

上記の混合生薬より抽出した日局防已黄耆湯エキス  
3,200mgを含有する。

添加物として日局ステアリン酸マグネシウム、日局軽質無水ケイ酸、日局結晶セルロース、日局乳糖水和物、含水二酸化ケイ素を含有する。

### 2. 製剤の性状

剤形 (色・形状)	内容量 (1包中)	識別番号
淡かつ色～かつ色の細粒で、 ほとんどにおいはなく、味は わずかに甘く、後に苦い。	3.75g	KB-20
	2.5g	EK-20

## 〔効能・効果〕

色白で疲れやすく、汗のかきやすい傾向のある次の諸症：  
肥満症（筋肉にしまりのない、いわゆる水ぶとり）、関節痛、むくみ

## 〔用法・用量〕

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

## 〔使用上の注意〕

### 1. 重要な基本的注意

- 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

### 2. 相互作用

#### 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。（「重大な副作用」の項参照）	グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

### 3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

#### (1)重大な副作用

- 間質性肺炎**：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常（捻髪音）等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。
- 偽アルドステロン症**：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ミオパチー**：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- 肝機能障害、黄疸**：AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、 $\gamma$ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

	頻度不明
過敏症 <sup>注1)</sup>	発疹、発赤、掻痒等

注1) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

[包装]

クラシエ防己黄耆湯エキス細粒

1. **KB-20** 3.75g×28包  
3.75g×168包
2. **EK-20** 2.5g×42包  
2.5g×294包  
500g

※[文献請求先]

クラシエ薬品株式会社 医薬学術部  
〒108-8080 東京都港区海岸3-20-20  
TEL 03(5446)3352 FAX 03(5446)3371

※[製品情報お問合せ先]

クラシエ薬品株式会社 お客様相談センター  
〒108-8080 東京都港区海岸3-20-20  
TEL 03(5446)3334 FAX 03(5446)3374  
〈受付時間〉10:00~17:00(土、日、祝日、弊社休業日を除く)

発 売 元 **クラシエ 薬品株式会社**  
東京都港区海岸3-20-20(郵便番号 108-8080)

製造販売元 **大峰堂薬品工業株式会社**  
奈良県大和高田市根成柿574番地(郵便番号635-0051)